

【 24 】

氏名	西 下 明
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 2 0 号
学位授与の日付	昭和47年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	悪性腫瘍の血管構造に関する研究 第1編 動物癌の血管構築について 第2編 血管構築と癌の間質について 第3編 腫瘍ならびに肺の血管に及ぼすBleomycinの影響 について
論文審査委員	教授 小川 勝 士    教授 小坂 淳 夫    教授 大藤 真

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

悪性腫瘍の重要な構成要素の一つである腫瘍間質なかんずく血管に関して追求を行った。

第1編 Bashford癌およびEhrlich固型癌について墨汁注入法により腫瘍血管構築を観察した結果について述べた。腫瘍血管は腫瘍の位置する宿主組織の血管に由来し、それぞれの腫瘍に特徴的な構築様式を有する。また肺転移腫瘍の血管構築の特徴についても述べた。

第2編 Ehrlich固型癌ならびにC<sub>3</sub>H自然発生乳癌初代移植腫瘍について超軟レ線法によりその血管構築を観察し、また同時に間質に関して組織学的追求も併わせ行った結果について述べた。またchondroitin硫酸を投与したEhrlich固型癌の血管、結合織において特徴ある変化を認めた。

第3編 C<sub>3</sub>H自然発生乳癌ならびにマウスおよび人肺についてBleomycin投与における血管結合織の変化を観察した結果について述べた。腫瘍および肺の細小血管は破壊、狭小化する。またPrednisoloneならびにchloroquineはBleomycinによる肺障害の程度を緩和することを認めた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、可移植性固型腫瘍の血管構造を墨汁法を超軟レ線法によって観察し、さらにブレオマイシン投与による血管障害を検討したものであるが、悪性腫瘍の血管系に対する化学療法の作用機序を追究した点特に治療学上価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。